

高等部での指導のスペシャリストになる！

～生徒指導・保護者対応編～

9月7日（金）に行われた第1回高等部支部ブロック学習会では、田光中学校（前守山養護学校 高等部 教務主任）の渡辺淳先生をお招きし、生徒指導や保護者対応について具体的な事例を挙げてお話していただきました。その後グループに分かれて、今困っていることや過去に起こった問題などを話し合ったり、渡辺先生に聞きたいことをまとめたりしました。グループの話で上がった質問について、渡辺先生や守山養護学校長塩野修章先生に答えていただくことで、普段抱える問題点の解決のヒントを得ることができました。

1 講話（田光中学校 渡辺先生より）

① 生徒指導について

SNSによるトラブルについて新聞記事から、高等部の生徒を取り巻く環境について事例を挙げていただきました。また、関係諸機関との連携、特に児童相談所（以後児相と表記）との連携については、児相に相談することが大事ではない、誰が（学校側）誰に（児相）伝えるかということが、学校としての重みが変わる、などといったお話があり、児相と連携していく上での留意していくべき点などのお話を伺いました。



② 保護者対応について

実際の保護者とのやり取りについて、こんなときはどうするかといったことを参加者の皆さんに問い掛けながら、保護者に対応する上で、渡辺先生が軸とされていることをお話していただきました。管理職の方々の協力を得て作戦を立てることや、電話をするタイミングなど、細かな渡辺流ノウハウを教えてくださいました。

2 グループ協議&共有タイム

メンバーが特別支援学校同士ということもあり、同じ悩みを抱える人もいて共感することができる事例が複数ありました。グループで話し合った内容について発表した場面では、渡辺先生の失敗事例をぜひ教えてほしいといったリクエストがあり、それに応えて、渡辺先生のこれまでのご経験の中から、いくつかの事例を紹介していただきました。渡辺先生も、最初から全てがうまくいったわけではないということを知ることができた貴重な時間となりました。数々の失敗も学びに変え、自分の力として蓄えていくことが大切ですね。先輩方の知恵を借りながら解決に結び付けていくことが、保護者との関係を築き上げていく上での自分の軸を見付けていくことにつながるのだと思いました。

参加できなかった会員の方からは「要望の多い保護者への対応法」についてご質問をいただいていた。これに対し、要望の度合いの見極めや、10のうちどこまでの要望を受け入れるかといった視点を教えてくださいました。担任だけで解決しようとするのではなく、学年主任や教務主任などに相談しながら、小さな情報もどんどん上げていくことも大切な視点だと学ぶことができました。

☆ アンケートより 渡辺先生の、児相等他機関との協力をする際のテクニックを教えてくださいました。とても参考になりました。

事例を踏まえて分かりやすく教えてくださいました。ありがとうございました。

☆次回のお知らせ【10月5日（金）18：30～ 守山養護学校 視聴覚室】

「高等部での指導のスペシャリストになる！～進路指導編～」

守山養護学校 高等部産業科 教務主任の浅井智英先生より、高等部卒業後の進路に向け、日頃の指導で大切にしている点や、学校生活において身に付けておくべき力、また、保護者の方へのアプローチの仕方など、具体例を挙げてお話をしていきます。

その後、各校での事例を取り上げ、具体的な対応方法を話し合ったり、情報を共有したりします。みなさまのご参加をお待ちしております。

